



第 2 回石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）の 開催結果について

令和 6 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震を踏まえ、各機関において、道路の早期復旧を目指しているところです。

引き続き、被災地へ流入する車両が一部の道路に集中することにより、各地で渋滞が発生し、支援物資運搬や復旧作業の支障となっていることから、学識経験者、整備局、運輸局、県、市町、警察、自衛隊、高速道路(株)などで構成される「石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）」の第 2 回を開催し、円滑な人流・物流を確保するための交通マネジメントについて議論を行いましたので、結果を別紙 1 のとおりお知らせします。

（参考）第 2 回 石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震）

1. 日時：令和 6 年 1 月 19 日（金）15:00～15:30
2. 場所：WEB 開催（会場：金沢河川国道事務所）
3. 委員名簿：別紙 2 のとおり

会議資料は、北陸地方整備局ホームページで公表しています。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/press/2023/1/240119dourobukaigi.pdf>

<記者発表先> 石川県政記者クラブ、石川県内専門紙

■問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 電話：025-280-8880（代）

道路部 道路計画課 課長 きたで 北出 一雅 （内線 4211）

第2回 石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震） 結果概要

- 令和6年能登半島地震におけるこれまでの復旧状況、及び現状の交通課題等について、関係機関相互で幅広く意見交換を行った。
- 被災地に流入する車両の内訳を把握し、一般車両による移動については乗り合いバスを運行することが有効であるとの意見があり、引き続き検討していくことを確認した。
- 国道249号七尾市中島町小牧地内の復旧作業は、数日内に完了し、迂回路から本線の通行が可能になる見込みであることを確認した。
- 七尾から穴水間の渋滞対策として、のと里山海道を災害復旧関係車両の推奨ルートとし、道路管理者と交通管理者が協力し、信号現示の調整や誘導案内を強化することを確認した。
- 引き続き災害復旧関係車両を優先することから、一般車両に対して被災地への移動を控えていただくようご理解・ご協力のお願いと、ピーク時間帯を避けた移動の要請を継続することを確認した。
- 鉄道の復旧について、被災状況を踏まえ代替バスについて検討中であることを確認した。
- 今後開始が見込まれる災害ボランティアの受け入れについて、交通負荷を軽減するため、被災地への乗り入れは送迎バスによる移動を検討していることを確認した。
- 今後の交通状況に応じて、引き続き関係機関が連携し必要な調整を図り、その時点で必要な対策を柔軟に検討・見直しながら交通マネジメントを実施していく。

石川県災害時交通マネジメント会議（能登半島地震） 委員名簿

敬称略・順不同

公立小松大学 教授 高山 純一

金沢大学 人間社会研究域 教授 高橋 涼子

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路計画課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路管理課 課長

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長

国土交通省 北陸信越運輸局 石川運輸支局 支局長

石川県 土木部 道路建設課 課長

石川県 土木部 道路整備課 課長

石川県 警察本部 交通規制課 課長

輪島市役所 建設部 土木課 課長

珠洲市役所 環境建設課 課長

能登町役場 建設水道課 課長

穴水町役場 地域整備課 課長

公益社団法人 石川県バス協会 専務理事

一般社団法人 石川県トラック協会 専務理事

中日本高速道路株式会社 金沢支社 道路管制センター 交通管制課長

西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 地域共生室 企画課長

のと鉄道株式会社 常務取締役兼鉄道部長

I R いしかわ鉄道株式会社 安全推進室長

自衛隊 中部方面隊第4施設団防衛班長

自衛隊 統合幕僚監部参事官付 主任

石川県県民ボランティアセンター 事務局長

※関係機関に要請し追加する場合もある